

まほうのどうぐ開発プロジェクト

～未就学児の健康づくりをいつもの生活に。
食や遊びを通して行動変容を促す～

大刀洗みらい研究所 研究員 藪内 真由

概要

未就学児の健康課題について分析し、行動変容が容易になるようなどうぐを開発していくプロジェクトです。課題解決のために企業や関係機関と連携し、普段の生活の中に自然と健康づくりの習慣ができるようにしていきます。

背景

大刀洗町の子どもたちって大きいなあ。。

3歳児健診時点の肥満度は全国値の2倍！

3歳児健診後に子ども達への支援が希薄になる期間があるなあ。。
次に会うのは就学時健診(6歳到達時)

健康課(母子保健)で実施している健診

4か月児健診

10か月児健診

1.6か月児健診

2.6か月児歯科健診

3歳児健診

就学時健診

(学校保健安全法)

3年間

～母子保健法と学校保健安全法の境目～ 心身ともに発達する期間に関わりたい！

大刀洗町のお子さんの約8割は保育園に就園している。
保育園事業を展開しよう！！

どうぐを開発する条件と方法

まず！保健師が根拠をもって健康課題を抽出
健康課題解決のためのどうぐを開発していく

条件

1. こどもがとにかく楽しめる！笑顔で取組める内容を提案すること。
2. 行動変容のきっかけに、どうぐを活用すること。
3. とびっきり楽しい健康づくりの記憶を作ること。
4. 自然に目に入る学びを自宅で表現するためのどうぐとすること。

さらに！どうぐの開発にはプロの目線で
アドバイスを入れる

どうぐの完成

考察

食

子ども達の食についての事業について(株)ピエトロと協働で事業を展開。食べ物が3色で分かれる事を乳幼児健診や保育園イベントを通して、楽しく伝えている。
現在、ランチョンマットの利用率は約60%。

利用者からは、「子どもとの食事の会話が増えた」「食事のバランスを考えるようになった」などのうれしい声が聞こえている。



動

活動を楽しく実施するためには、身体の土台であるあしづくりが重要。大刀洗町の子ども達のあしの状態を観察してきたが、あしゆびの課題が多かった。そのため、あしゆびを元気にする活動を開始。



XEBIO(株)
足型測定券を通して、子どものあしに合った靴を選ぶ・あしに合った靴に導いてくれるお店との連携

APTY
木材であしゆびこまを作成



今後の展開

町内保育園と共同でこども達の食に関する
新たなどうぐも開発中

乳幼児健診や園児の身体測定結果より課題を再調査中

3食の食事以外にとる間食に課題を発見。

みなさんは、子どもの間食とはどのようなものだと考えますか？

この課題解決のために、新たなどうぐを開発を考えています。



間食の量に着目！こども用の手計スケールを作成中！